

守られてます常南っ子!

福寿会(常南見守り隊)の皆さんの力を借りています



地域の力・保護者の力に感謝!



●板田、田口方面から横断歩道に注意して・・・



●大井野からアップダウンの山道を歩きながら・・・



●エコロタウン入口の横断歩道に立つて・・・

発行所
常磐南小学校
電話 46-2005
FAX 46-2048
— 第3号 —
2020.6.30



鍵山秀三郎さんという方がいる。(株) イエローハットの創業者で、NPO法人「日本を美しくする会」の創唱者だ。

もう15年ほど前になるうか。私は幸運にも鍵山さんの話を聴く機会に恵まれた。温かい人柄がよく伝わってきて、心が穏やかになった。

こんな話があった。

「お客さんがいないときに、店内の掃除をしたり、商品を並び替えたりして、忙しく働いていると、お客さんがやって来る。逆に、何もしな

気

2020.6.30



校長 都筑 祐一

*誰にも聞かれないことを、誰にも聞かれないこと

いで時間を過ごしていると、お客さんはやって来ない。不思議なもので、店には『気』というものがあるとですね」

私は毎年、4月の職員会議でこの話を教職員に伝えている。それは、お店と同様、学校にも『気』が存在するからだ。

先生たちが、明るいあいさつで迎えれば、子どもたちは元気に登校する。きれいな環境を整えておけば、子どもたちに美しい心が育つ。授業づくりにも情熱を注げば、子どもたち

の学力はぐんぐん伸びる。

なかでも学校の『気』は、あいさつによるところが大きい。師弟が交わす「おはよう」「ありがとう」「こんにちは」など、基本的なあいさつが学校に『気』を呼び込むのだ。

6月15日(月)。テレビ集会で、あいさつについて考える機会をもった。あいさつがよくできる・・・君と・・・君にゲスト出演を依頼し、こんな問いを投げかけてみた。

「あいさつができる人には、どんな未来が待っていると思いますか」

2人は、そろってこう答えた。

「友達がたくさんできて、幸せな未来かな」

大リーガーの大谷翔平選手は、高校生のとき『あいさつができる人と運が向く』と考えた。きつと、あいさつができる人は、出会いに恵まれ、人生の運も味方するのだろう。

6月4日(木)朝。エコロタウン入口の横断歩道から坂道を上がっていくと、自転車に乗った複数の中学生とすれ違った。面識のない私に、次々とあいさつをする中学生。私は、この学区に素晴らしい若者が育っていることを知り、とてもうれしくなった。

学校の『気』は、家庭や地域の協力に支えられている。これからもたくさんさんの声をいたしながら、確かな学校づくりに邁進していきたい。

